

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月29日

埼玉県知事
大野 元裕 殿



提出者

住所 京都市右京区西京極大門町26

氏名 ダイニック株式会社

代表取締役社長 山田 英伸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

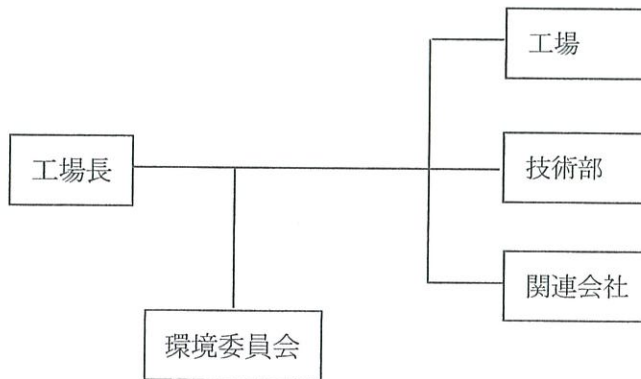
電話番号 075-313-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ダイニック株式会社埼玉工場
事業場の所在地	埼玉県深谷市内ヶ島500
計画期間	令和5年4月～令和6年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	繊維工業
②事業の規模	製品出荷額 995,602万円(令和4年度)
③従業員数	218名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 ① ②

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

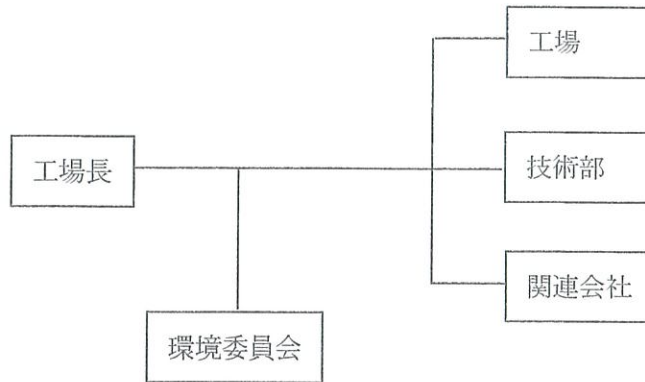
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	排出量	819 t	341 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>各製造グループでの歩留向上対策が廃棄物減少につながったことと分別強化によって廃プラスチックの削減が出来た。</p> <p>又、コロナ禍の影響で生産数量が減少して発生量が抑えられた部分や特需での連操で段替のロスが減少した事も要因。</p> <p>汚泥は流入する水量の減少と含水率向上対策で排出量が減少した。</p>		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	排出量	810 t	330 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き歩留向上の対策や分別の強化、リユースなどを検討し削減する。</p> <p>汚泥は含水率向上対策の引き続き実施、オーバーホール等で発生量を削減する。</p>		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>各製造グループや関連会社に分別マニュアルに沿った分別を徹底させて、巡視にて順守の確認を行った。</p>
② 計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>引き続き巡視を行い確認を実施する。順守出来ていない場合は指導、教育を行う。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

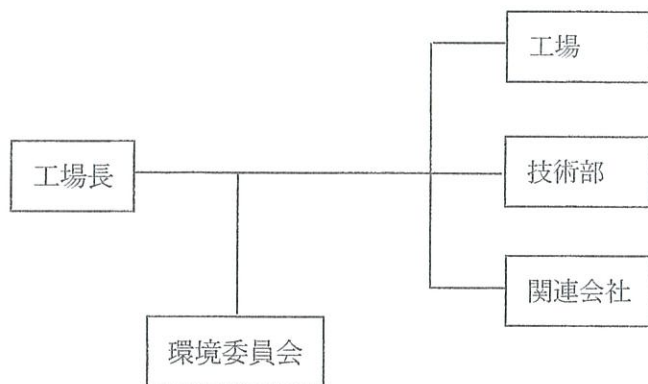
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	104 t	t
	(これまでに実施した取組) 木くずはパレットのリユース（補修にて再利用）を実施。 状態が悪くリユースが出来ない物が多かった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	70 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の方法を定めたマニュアル、標準等を展開、置き場も明確にした。置き場は巡視し順守を確認。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 巡視を続けて分別を確認する。順守していない場合は指導、教育を行う。又不具合が続く場合においてはマニュアル等の見直しを行う。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

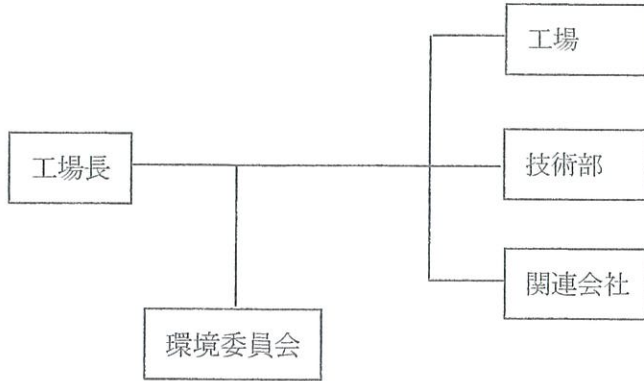
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	蛍光灯・金属くず
	排出量	0.4 t	0.14 t
	<p>(これまでに実施した取組) リサイクル化の検討を行ってきた。 蛍光灯、付帯する金属くずはLED化を進めた時に多く発生し排出された。</p>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排出量	0.05 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組) 引き続きリサイクル化の検討を行う。</p>		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の方法を定めたマニュアル、標準等を展開、置き場も明確にした。置き場は巡視し順守を確認。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 巡視を続けて分別を確認する。順守していない場合は指導、教育を行う。又不具合が続く場合においてはマニュアル等の見直しを行う。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃アルカリ
	排出量	0.21t	2.11t
	(これまで実施した取組) 石膏ボードは壁を修理した際のスポット品である。 廃アルカリはタンク内を清掃した時の物であり、スポット的に発生した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の方法を定めたマニュアル、標準等を展開、置き場も明確にした。置き場は巡視し順守を確認。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 巡視を続けて分別を確認する。順守していない場合は指導、教育を行う。又不具合が続く場合においてはマニュアル等の見直しを行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2 t	t
	（これまでに実施した取組） リユース化が進展せず、リユース出来た製品の生産量も減少してしまった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	10 t	t
	（今後実施する予定の取組） リユース出来る製品設計を検討して行く。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	全処理委託量	817 t	341 t
	優良認定処理業者への処理委託量	817 t	341 t
	再生利用業者への処理委託量	817 t	246 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	95 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の処理は、外部委託がほぼ全量に近い コロナ禍で委託先への現地確認も行えていなかった ので連絡を密にして適正な処理の把握を行った。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	104 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	104 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の処理は外部委託がほぼ全量に近い コロナ禍で委託先への現地確認も行えていなかった ので連絡を密にして適正な処理の把握を行った。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	蛍光灯・金属くず
	全処理委託量	0.4 t	0.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t	0.14 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の処理は外部委託がほぼ全量に近い コロナ禍で委託先への現地確認も行えていなかった ので連絡を密にして適正な処理の把握を行った。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	廃アルカリ
	全処理委託量	0.21t	2.11tt
	優良認定処理業者への処理委託量	0.21t	2.11tt
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の処理は外部委託がほぼ全量に近い コロナ禍で委託先への現地確認も行えていなかった ので連絡を密にして適正な処理の把握を行った。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	汚泥
	全処理委託量	800 t	330 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	800 t	330 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>コロナの規制が緩和したので少しずつ現地確認を再開して適正処理の把握や法順守を徹底することとし処分先の指導を行う。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	70 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	70 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>コロナの規制が緩和したので少しずつ現地確認を再開して 適正処理の把握や法順守を徹底することとし、処分先の 指導を行う。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	0.05 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>コロナの規制が緩和したので少しずつ現地確認を再開して 適正処理の把握や法順守を徹底することとし、処分先の 指導を行う。</p>		
※事務処理欄			

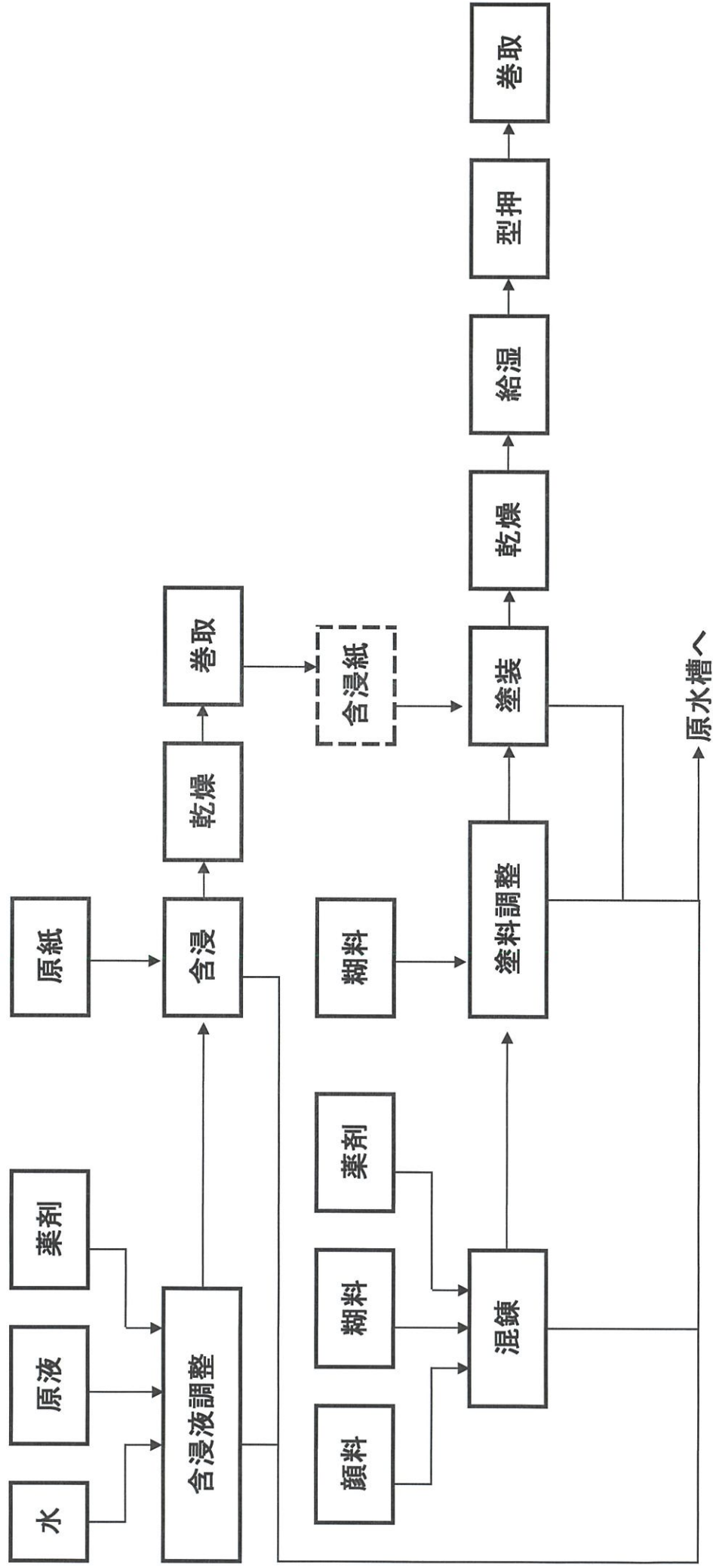
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

生産工程図

別紙-①



生産工程図

別紙-②

